

---

慶應義塾湘南藤沢高等部 数理科学講演会 2  
— 経路問題と未解決問題 —

理工学部数理科学科 小田芳彰

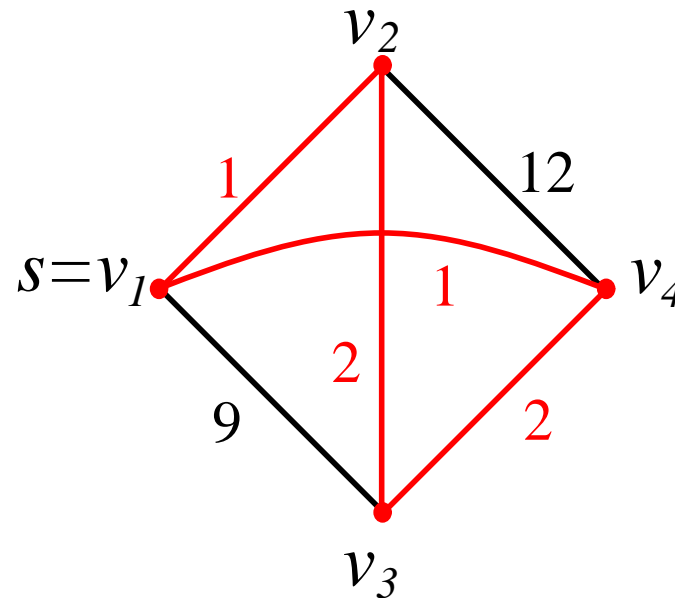
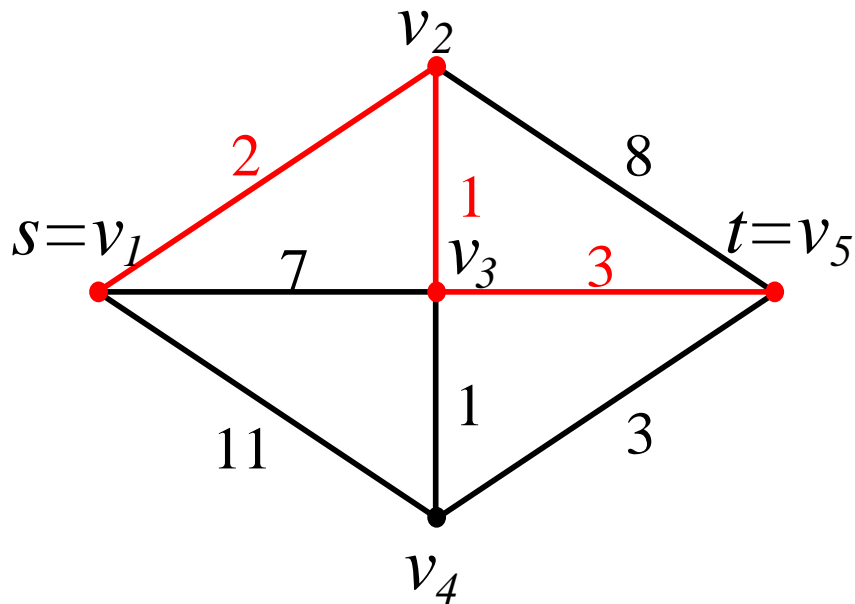
2012.3.9

# 経路問題：問題の説明

**経路問題**：いくつかの都市と道路網が与えられているときに、移動する際の距離あるいは時間、コストが最小になるさまざまな**ルート（経路）**を見つける問題

問題 1. 都市  $s$  から都市  $t$  への最短ルートは？

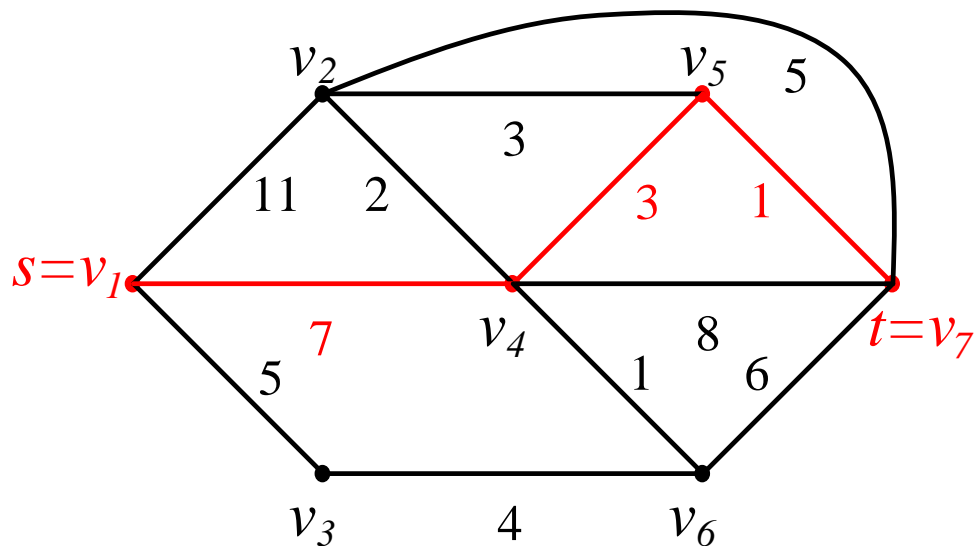
問題 2. 都市  $s$  を出発し、すべての都市を 1 回ずつ通って、 $s$  に戻ってくる最短ルートは？



# 解答

## 問題 1 (最短路問題)

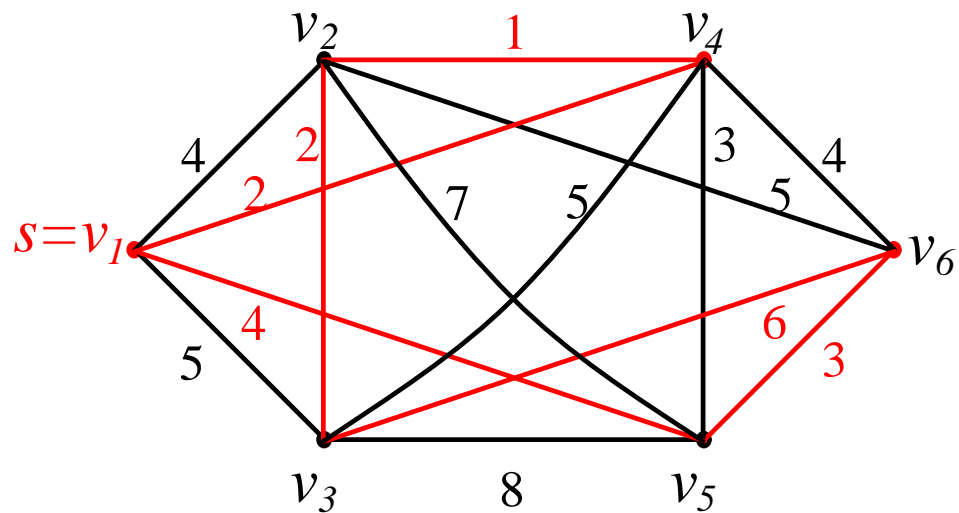
$s$  から  $t$  への最短ルート



→カーナビゲーションシステム  
への応用

## 問題 2 (巡回セールスマン問題)

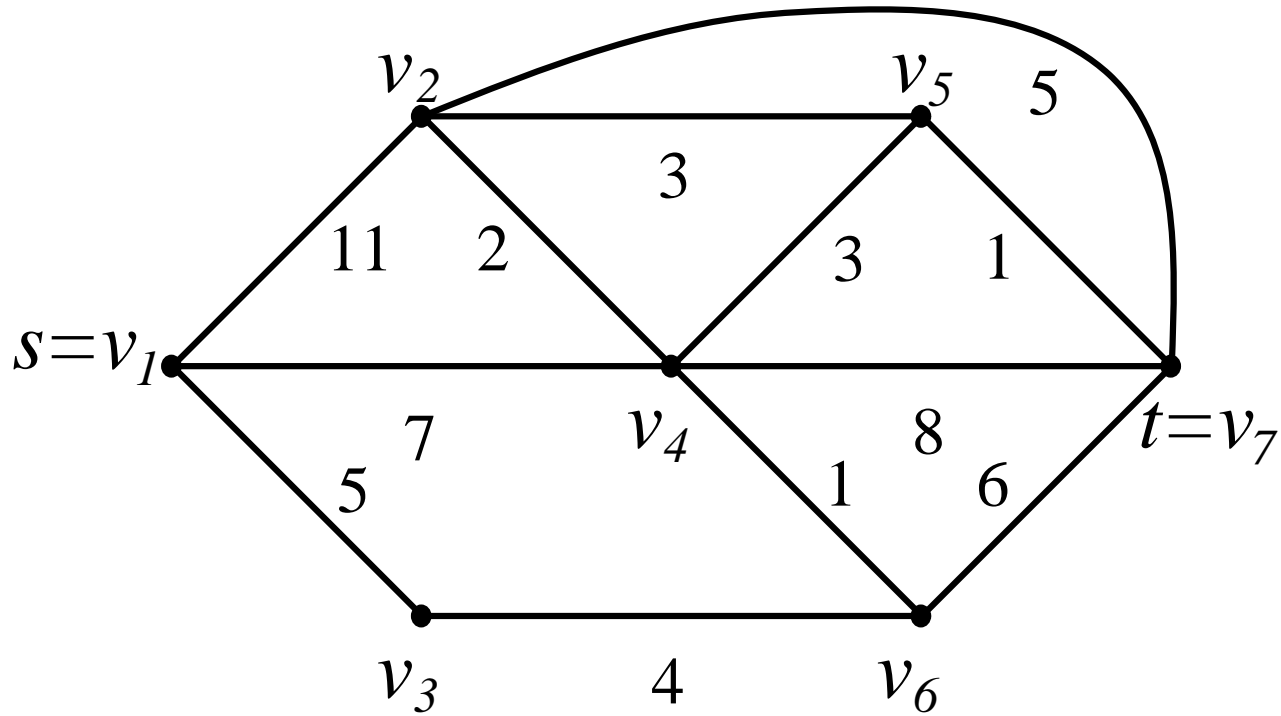
$s$  を出発し、すべての都市を 1 回ずつ通り、 $s$  に戻ってくる最短ルート



→セールスマンが顧客先をすべて  
まわりたい

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

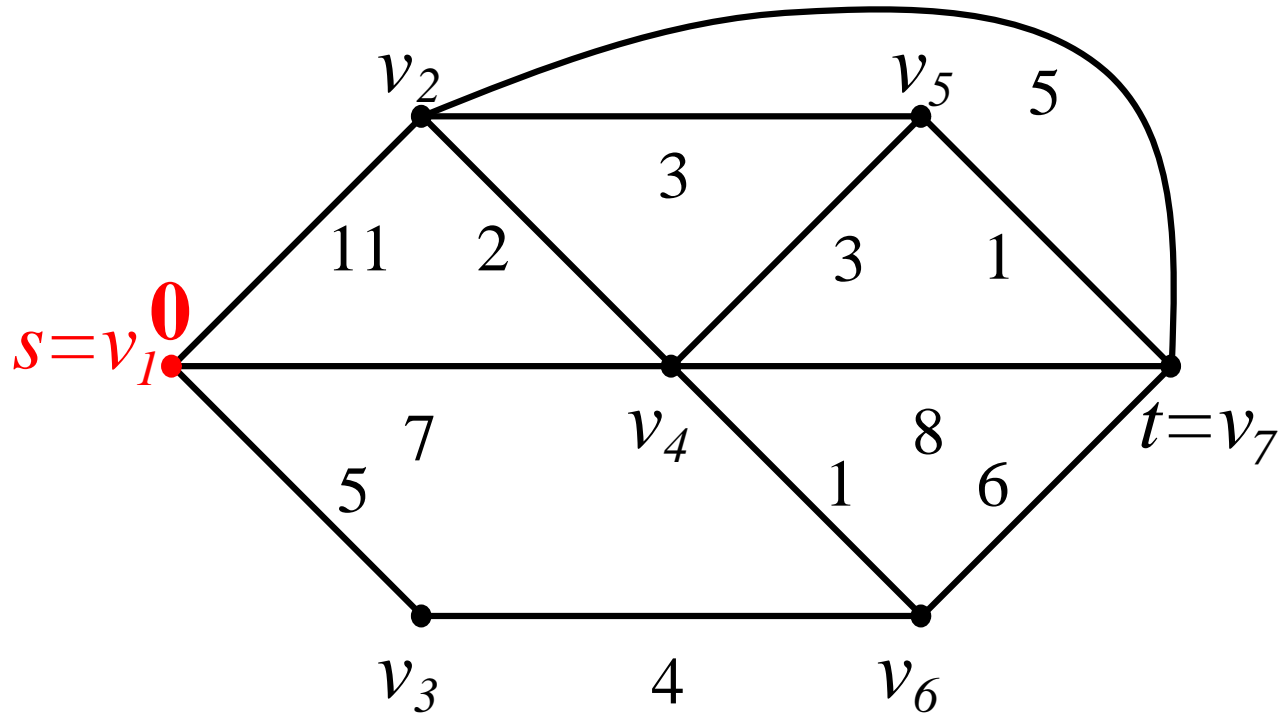
## 計算手順



$s$  から他のすべての都市への最短ルートを近い方から順に調べていく。

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

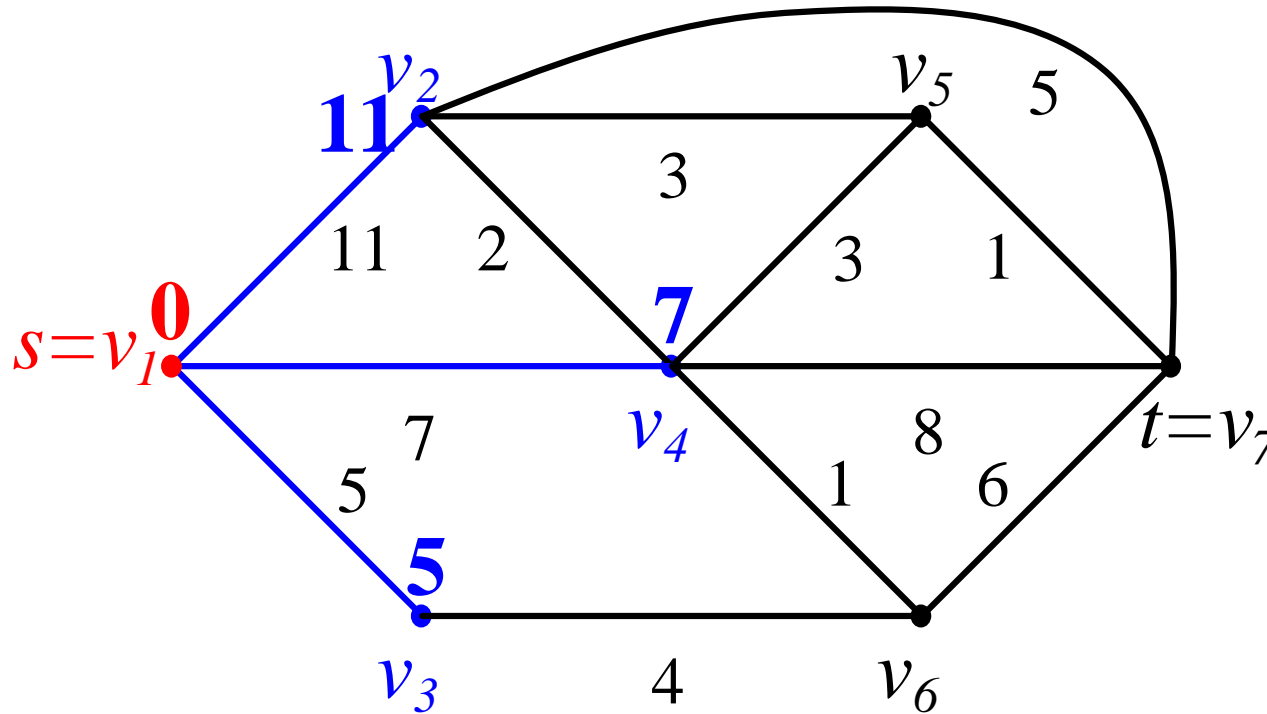
## 計算手順



$s$  から他のすべての都市への最短ルートを近い方から順に調べていく。  
まず、 $s$  から  $s$  までは当然 0.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

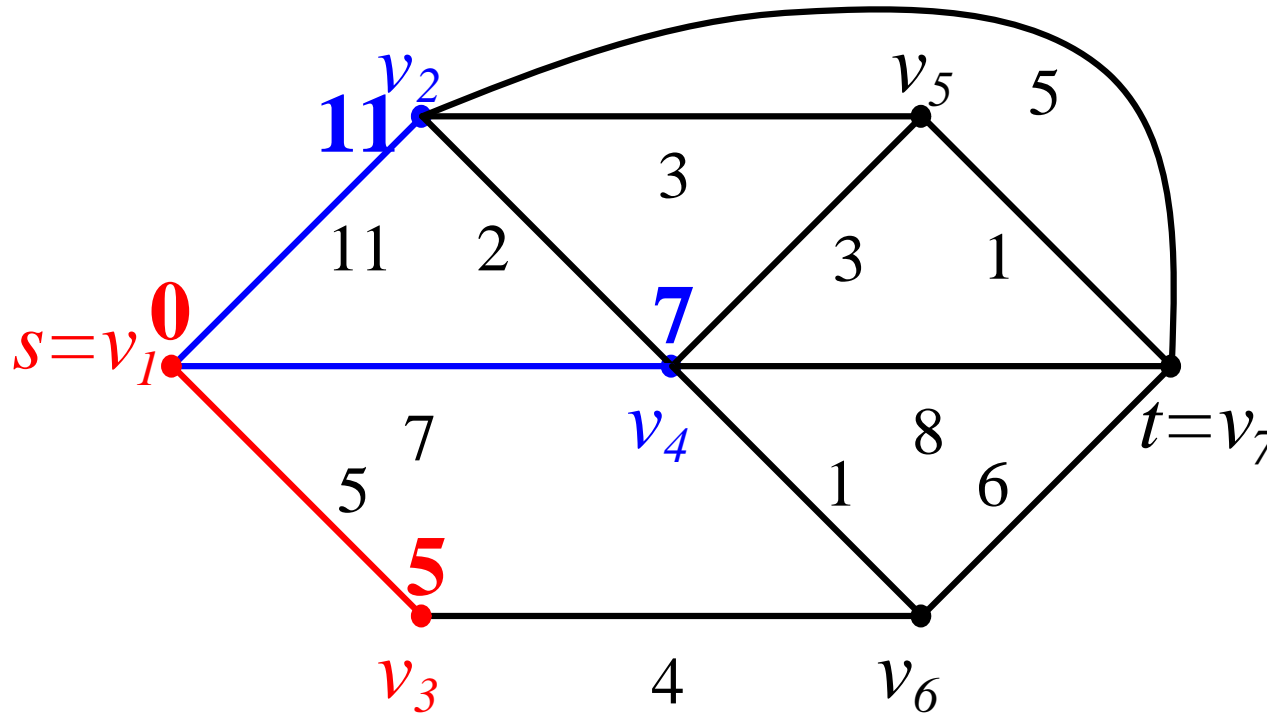
## 計算手順



$s$  から他のすべての都市への最短ルートを近い方から順に調べていく。  
 $s$  から直接たどれる都市は  $v_2, v_3, v_4$ .

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

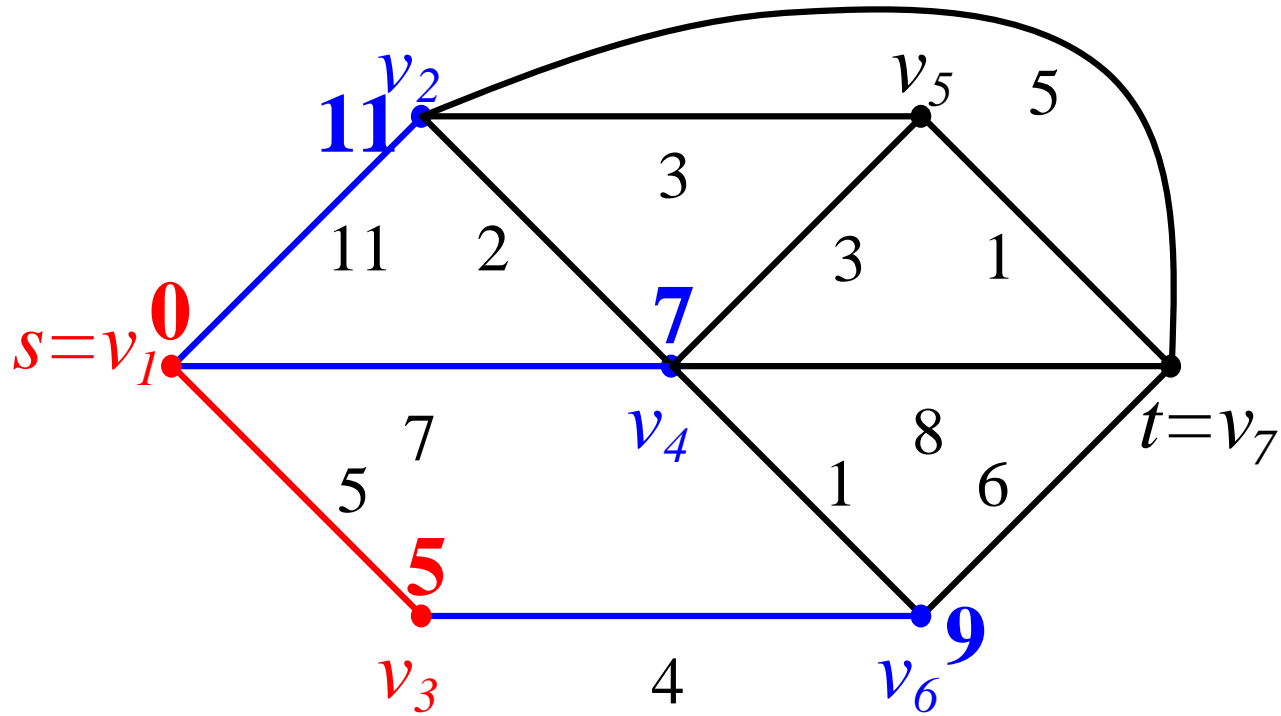
## 計算手順



$s$  から他のすべての都市への最短ルートを近い方から順に調べていく。  
どの道路の距離（値）も正なので、  
この時点で、 $s$  から  $v_3$  への最短ルートが確定。

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

## 計算手順

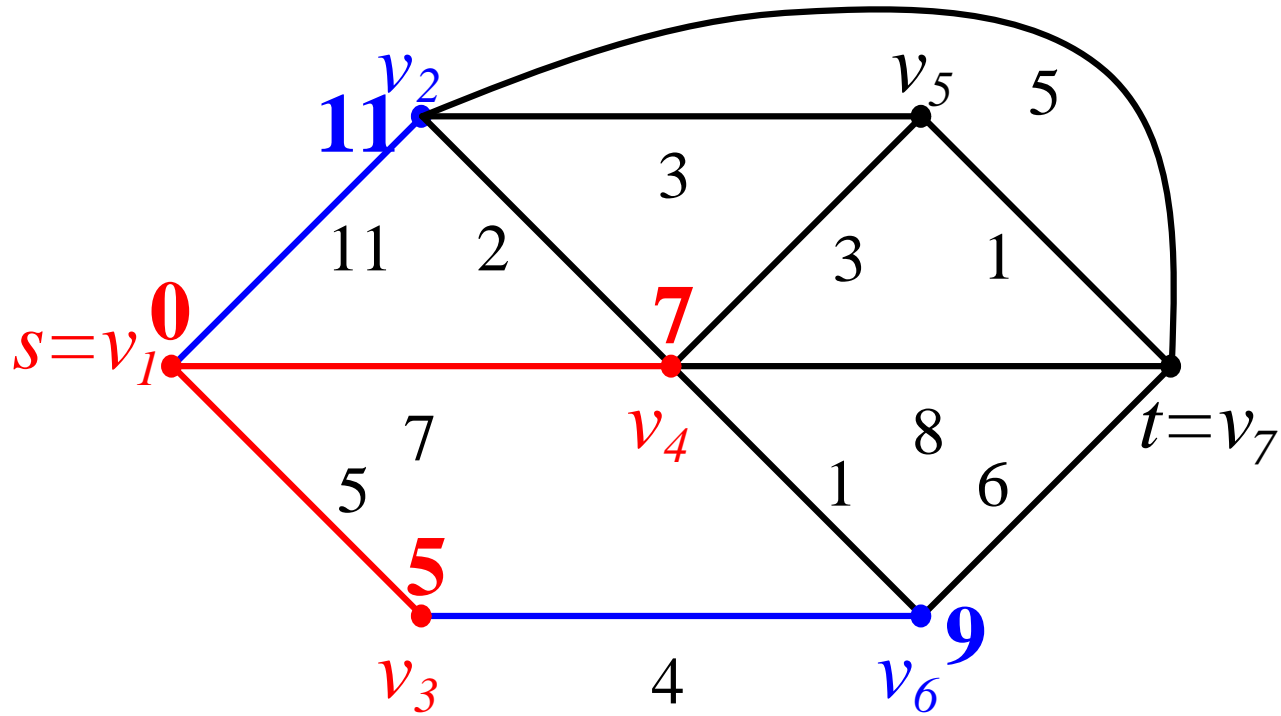


この時点で、 $s$  から  $v_3$  への最短ルートが確定.



# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

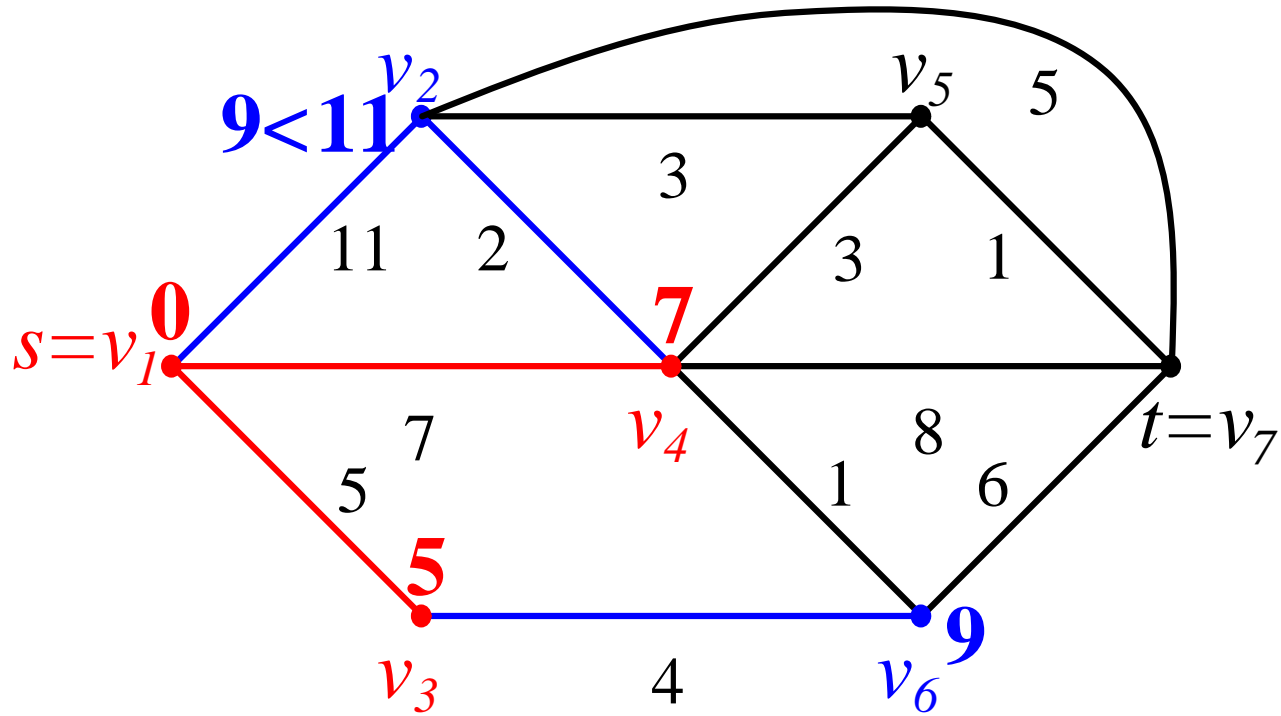
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4$  への最短ルートが確定.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

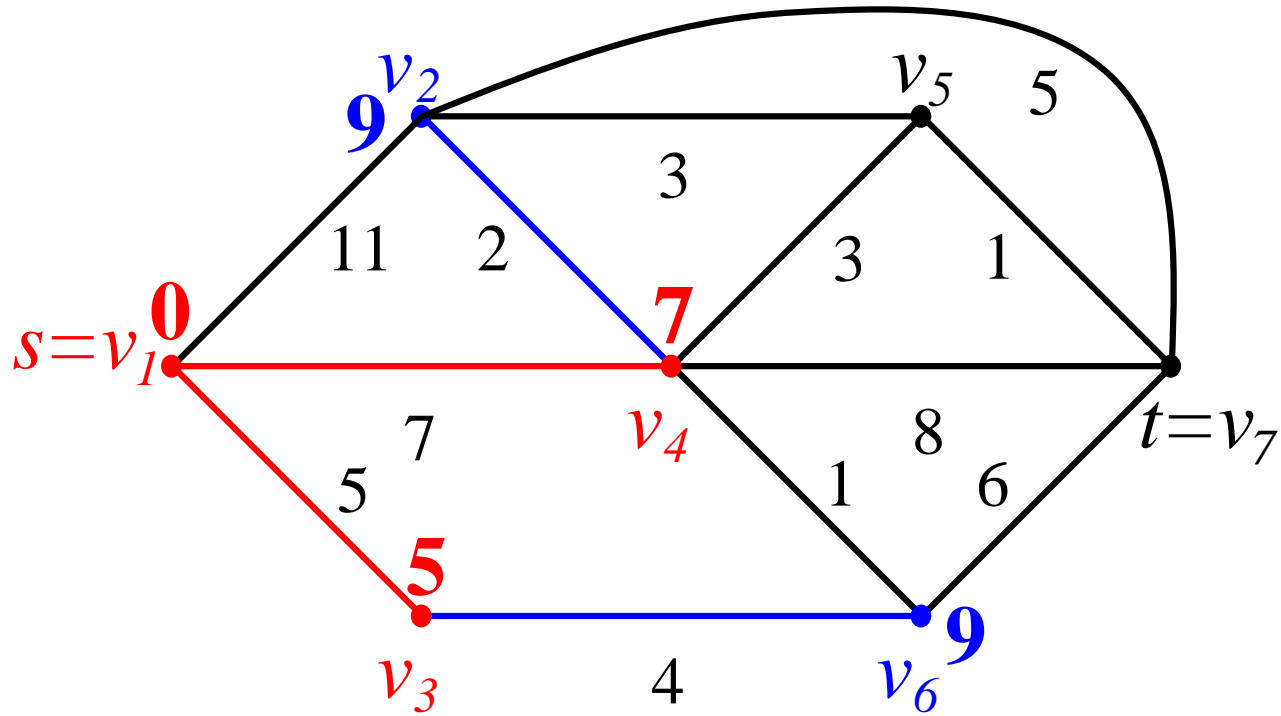
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4$  への最短ルートが確定.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

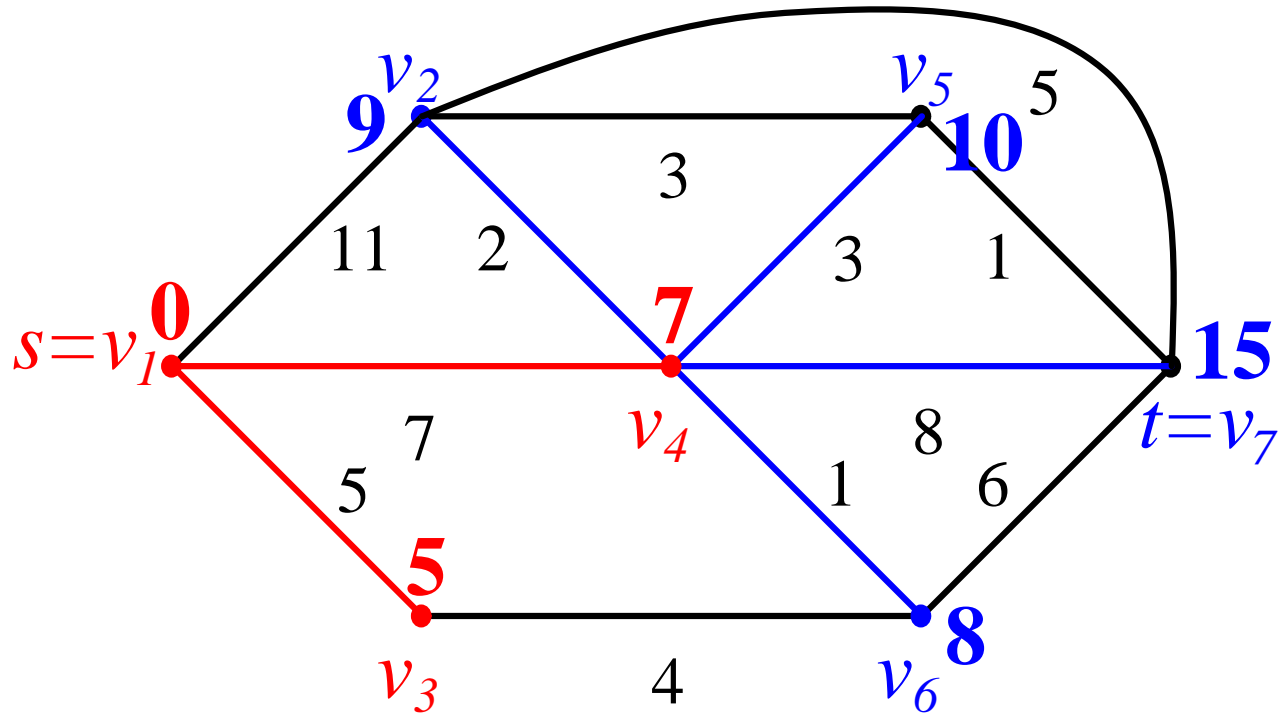
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4$  への最短ルートが確定.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

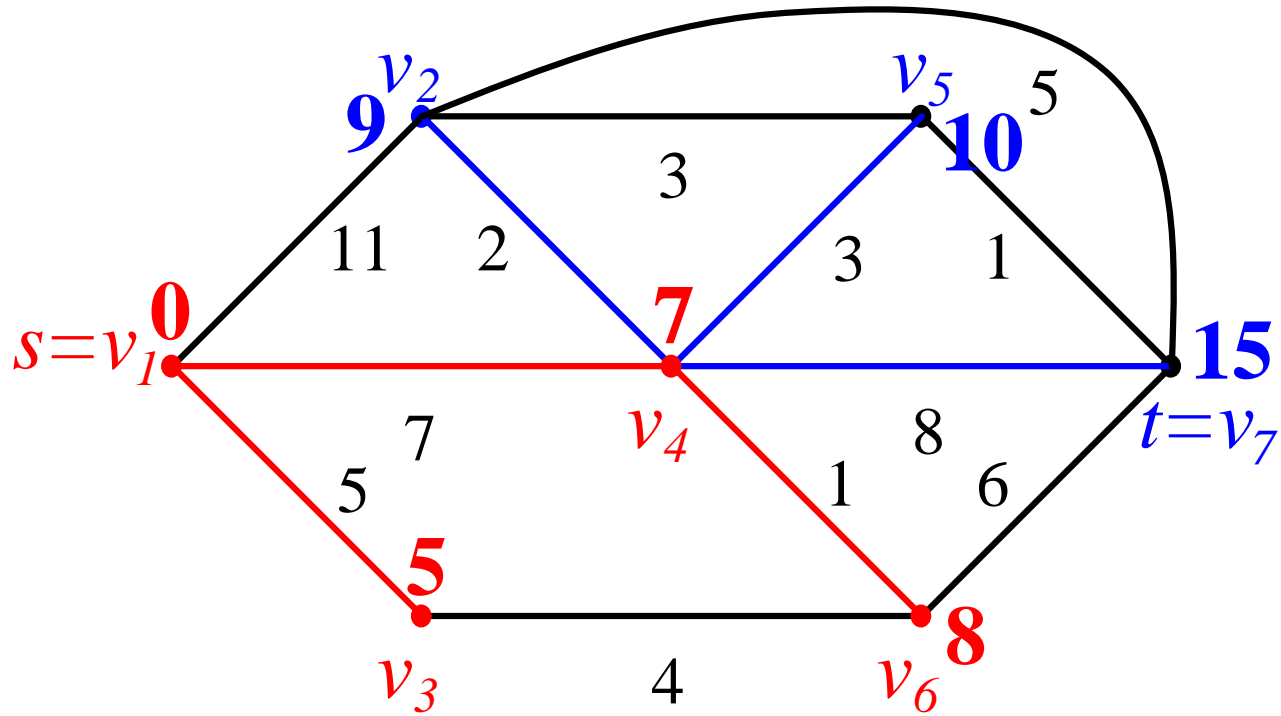
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4$  への最短ルートが確定.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

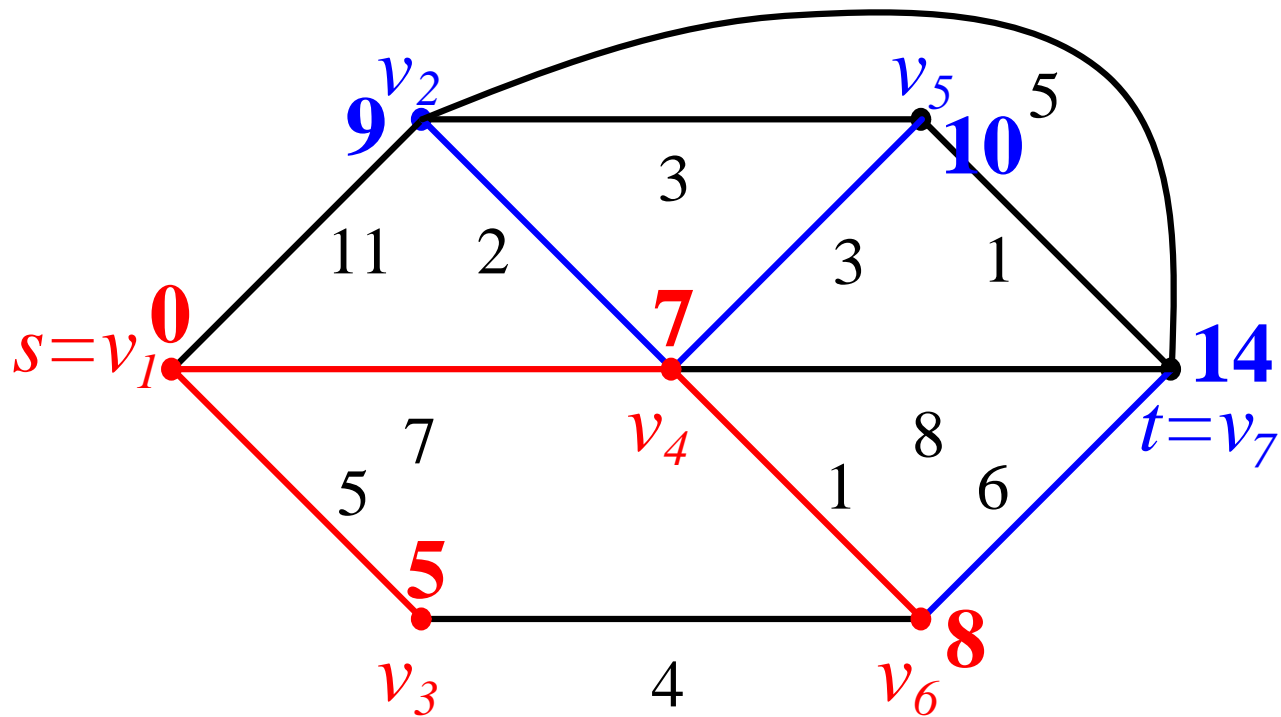
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4, v_6$  への最短ルートが確定.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

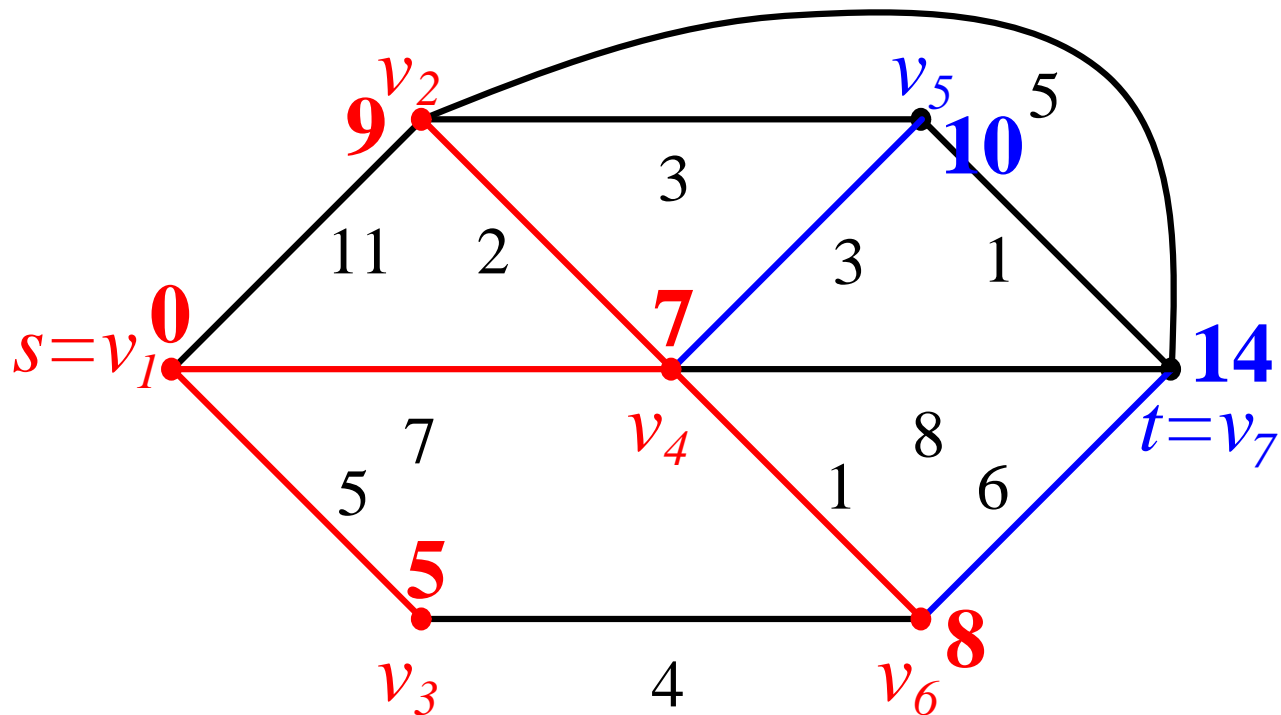
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4, v_6$  への最短ルートが確定.

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

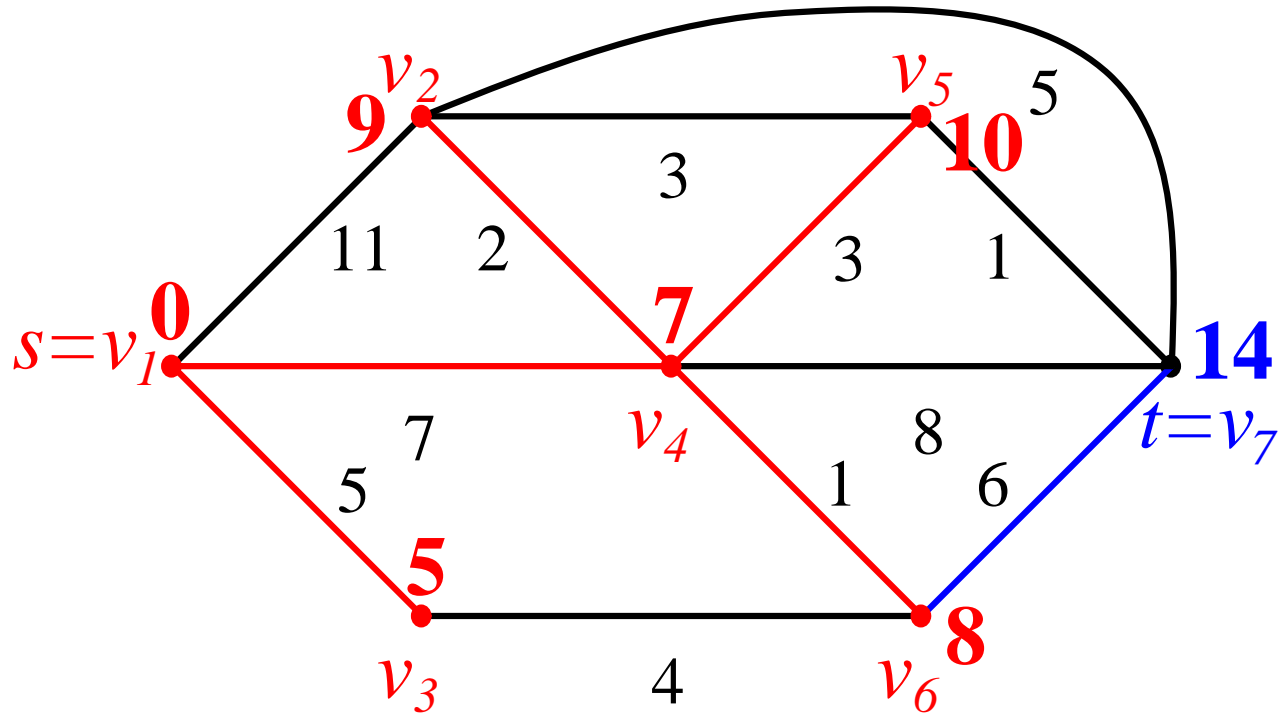
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4, v_6, v_2$  への最短ルートが確定。

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

## 計算手順

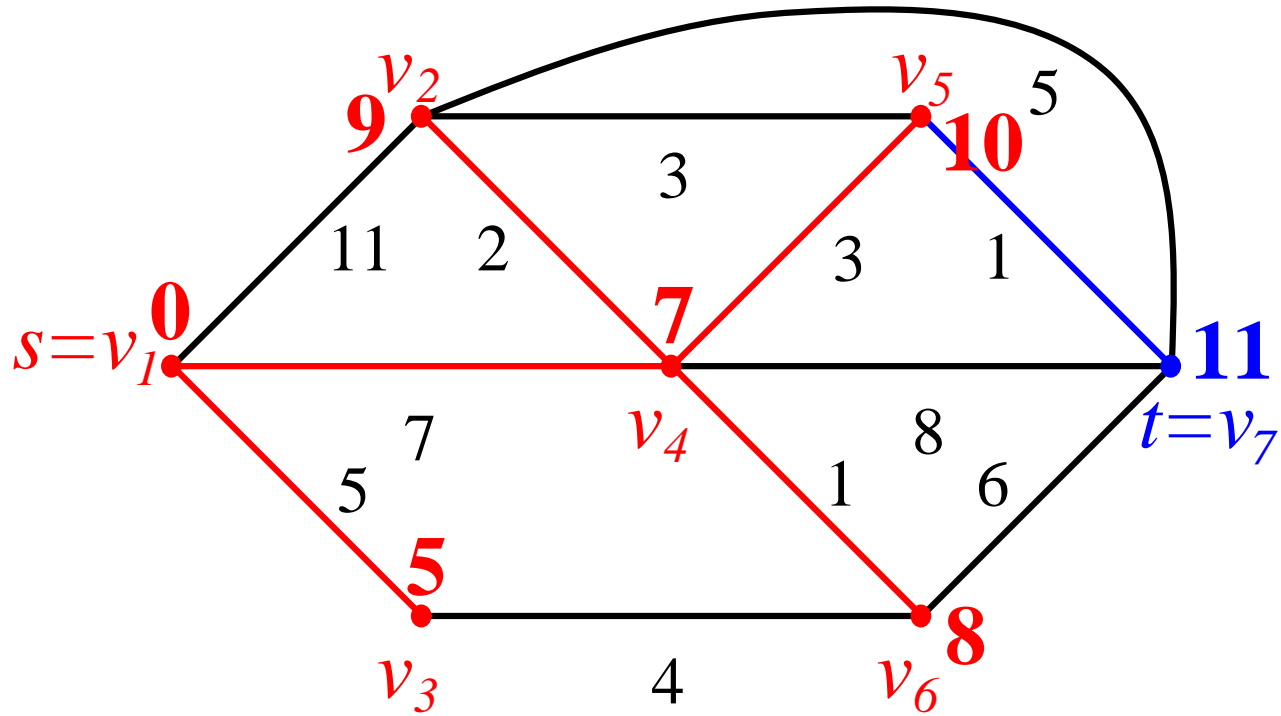


この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4, v_6, v_2, v_5$  への最短ルートが確定。



# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

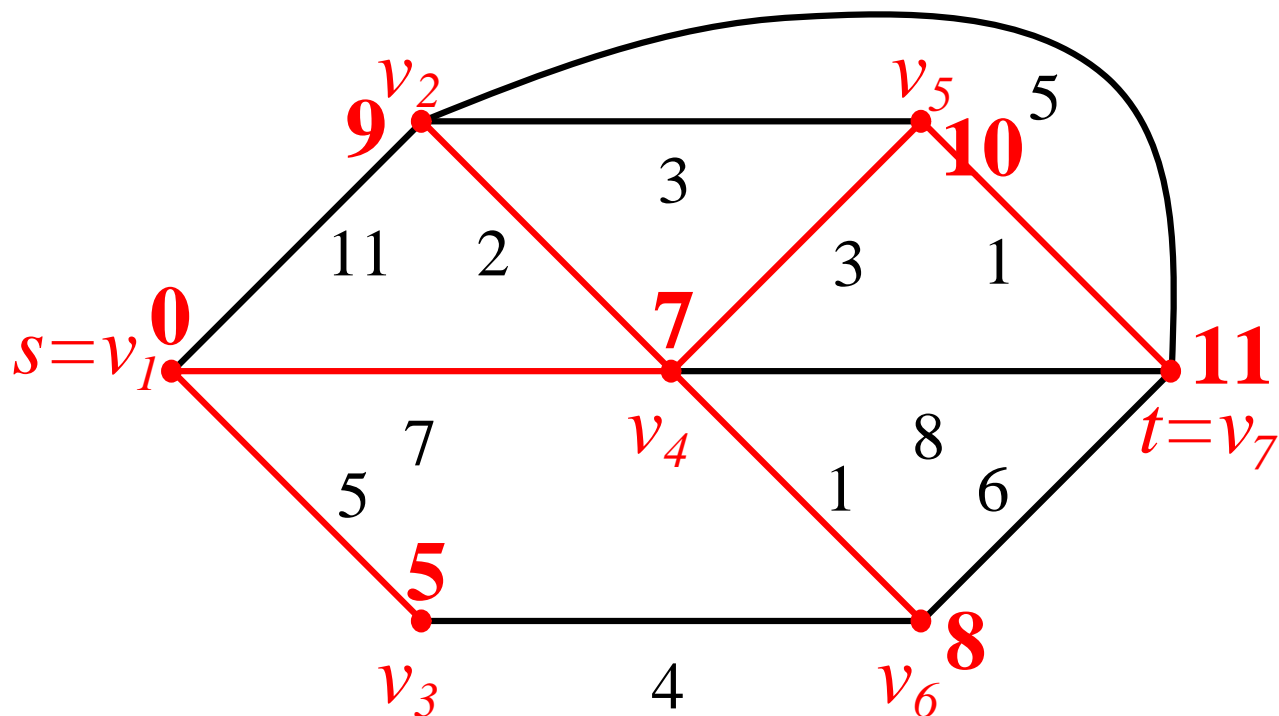
## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4, v_6, v_2, v_5$  への最短ルートが確定。

# 問題 1 の解説：最短路問題（ダイクストラ法）

## 計算手順



この時点で、 $s$  から  $v_3, v_4, v_6, v_2, v_5, v_7$  への最短ルートが確定。

このダイクストラ法により、都市数  $n$  に対し  $n^2$  に比例する計算時間で最短路問題の解が得られる。

## 問題 2 の解説：巡回セールスマン問題

順列に対応させて全通り考える.

以下,  $n$  都市を  $1, 2, \dots, n$  とする.

都市  $n$  を出発し, 残りの  $n - 1$  都市のたどり方は  $n - 1$  個の順列に対応.

例  $n = 6$  のとき

$6, 1, 2, 3, 4, 5(, 6)$	$6, 1, 2, 3, 5, 4(, 6)$	$6, 1, 2, 4, 3, 5(, 6)$
$6, 1, 2, 4, 5, 3(, 6)$	$6, 1, 2, 5, 3, 4(, 6)$	$6, 1, 2, 5, 4, 3(, 6)$
$6, 1, 3, 2, 4, 5(, 6)$	...	$6, 5, 4, 3, 2, 1(, 6)$

※ 対称性を考慮すると,  $6, 5, 4, 3, 2, 1(, 6)$  は  $6, 1, 2, 3, 4, 5(, 6)$  の逆回りなので, 実質同じルートとみなせる.

→全部で  $\frac{(n-1)!}{2}$  通り

さまざまな工夫により, 場合の数を減らせるが,  $n$  が大きくなると一般には依然膨大な組み合わせのまま.

# 巡回セールスマン問題の厳密解法（時間をかけても最適解を）

## 動的計画法

$F(S, i)$ : 1 から  $i$  へのパスのうち,  $S$  のすべての頂点を通るものの中で, 重みの和の最小値

$$F(\{i\}, i) = w(1, i) \quad (2 \leq i \leq n) \quad (1)$$

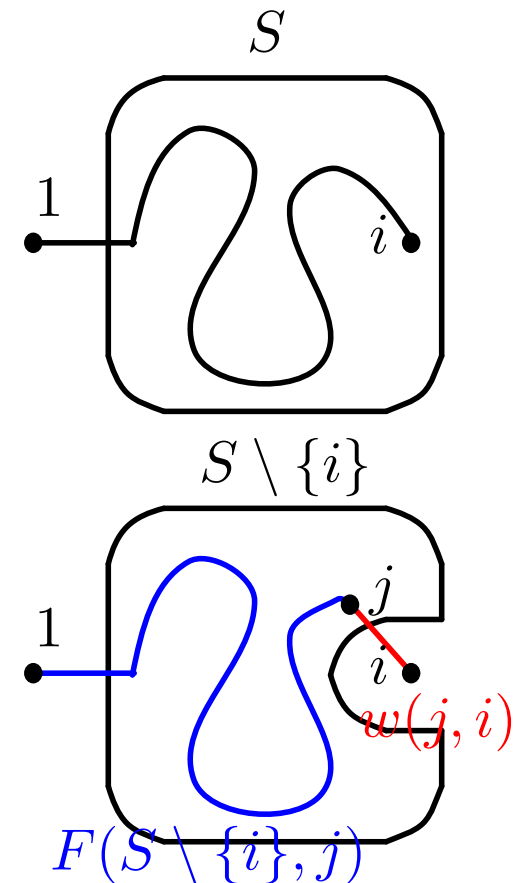
$$F(S, i) = \min_{j \in S \setminus \{i\}} \{F(S \setminus \{i\}, j) + w(j, i)\} \quad (2)$$

(1) 式の後, (2) 式を  $|S| = 2, 3, \dots, n - 1$  の順で計算. 最後に次を計算すると, 重みの和の最小値が得られる.

$$\min_{j \in V(G) \setminus \{1\}} \{F(V(G) \setminus \{1\}, j) + w(j, 1)\}$$

$n^2 2^n$  に比例する計算時間で巡回セールスマン問題の解が得られる.

他の厳密解法として, 分枝限定法などがある.



# 100MIPS(每秒 $10^8$ 回の演算が可能) の計算機による計算時間

## 多項式時間

入力サイズ $n$	$n$	$n \log_2 n$	$n^2$	$n^3$	$n^5$
10	$1 \times 10^{-7}$ 秒	$3.32 \times 10^{-7}$ 秒	$1 \times 10^{-6}$ 秒	$1 \times 10^{-5}$ 秒	0.0015 秒
20	$2 \times 10^{-7}$ 秒	$8.64 \times 10^{-7}$ 秒	$4 \times 10^{-6}$ 秒	$8 \times 10^{-5}$ 秒	0.032 秒
30	$3 \times 10^{-7}$ 秒	$1.47 \times 10^{-6}$ 秒	$9 \times 10^{-6}$ 秒	$2.7 \times 10^{-4}$ 秒	0.243 秒
40	$4 \times 10^{-7}$ 秒	$2.13 \times 10^{-6}$ 秒	$1.6 \times 10^{-5}$ 秒	$6.4 \times 10^{-4}$ 秒	1.02 秒
50	$5 \times 10^{-7}$ 秒	$2.82 \times 10^{-6}$ 秒	$2.5 \times 10^{-5}$ 秒	$1.25 \times 10^{-3}$ 秒	3.13 秒
100	$1 \times 10^{-6}$ 秒	$6.64 \times 10^{-6}$ 秒	$1 \times 10^{-4}$ 秒	0.01 秒	1.67 分
1000	$1 \times 10^{-5}$ 秒	$9.97 \times 10^{-5}$ 秒	$1 \times 10^{-2}$ 秒	10 秒	115 日
1 万	$1 \times 10^{-4}$ 秒	$1.33 \times 10^{-3}$ 秒	1 秒	2.78 時間	31 世紀
10 万	$1 \times 10^{-3}$ 秒	0.017 秒	100 秒	115 日	0.21 宙齡

## 指数時間

入力サイズ $n$	$2^n$	$n^2 2^n$	$3^n$	$n!$
10	$2.1 \times 10^{-5}$ 秒	0.001 秒	$5.9 \times 10^{-4}$ 秒	0.036 秒
20	$1.05 \times 10^{-2}$ 秒	4.19 秒	34.9 秒	771 年
30	10 秒	2.68 時間	23.8 日	$5.61 \times 10^6$ 宙齡
40	3.05 時間	204 日	3.68 世紀	$1.72 \times 10^{22}$ 宙齡
50	130 日	893 年	0.015 宙齡	$6.42 \times 10^{38}$ 宙齡
100	26798 宙齡	$2.68 \times 10^8$ 宙齡	$1.09 \times 10^{22}$ 宙齡	$1.77 \times 10^{132}$ 宙齡

1 宙齡 = 150 億年 (ビッグバンから現在までの時間)

久保, 山本 [2] から

# P ≠ NP 予想

現時点では、巡回セールスマン問題を**多項式時間**で解く計算方法は見つかっていない。

さらに、次のような理論体系（計算量理論）がある。

**定理** 巡回セールスマン問題は **NP 困難**である。

もし巡回セールスマン問題を多項式時間で解く計算方法が見つければ、それを使って同じように難問とされている**たぐいさんの問題が多項式時間で解けてしまう**。

# P ≠ NP 予想

現時点では、巡回セールスマン問題を**多項式時間**で解く計算方法は見つかっていない。

さらに、次のような理論体系（計算量理論）がある。

**定理** 巡回セールスマン問題は **NP 困難**である。

もし巡回セールスマン問題を多項式時間で解く計算方法が見つければ、それを使って同じように難問とされている**たぐいさんの問題が多項式時間で解けてしまう**。  
→それはないだろう。

これは、**P ≠ NP 予想**とよばれ、アメリカのクレイ数学研究所によって2000年に発表された100万ドルの懸賞金がかけられている7つの数学上の未解決問題の1つ

# P ≠ NP 予想

巡回セールスマン問題を多項式時間で解く計算方法が見つかれば、それを使って同じように難問とされている**た**く**さ**ん**の**問題が**多項式時間で解**けて**しま**う。

『「**難しそうな問題**」が**本当に難しい**。』  
これを示すのも**難しい**....

もし巡回セールスマン問題を多項式時間で解く計算方法が見つかれば、それを使って同じように難問とされている**た**く**さ**ん**の**問題が**多項式時間で解**けて**しま**う。  
→それはないだろう。

これは、**P ≠ NP** 予想とよばれ、アメリカのクレイ数学研究所によって**2000**年に発表された**100**万ドルの懸賞金がかけられている**7**つの数学上の未解決問題の**1**つ

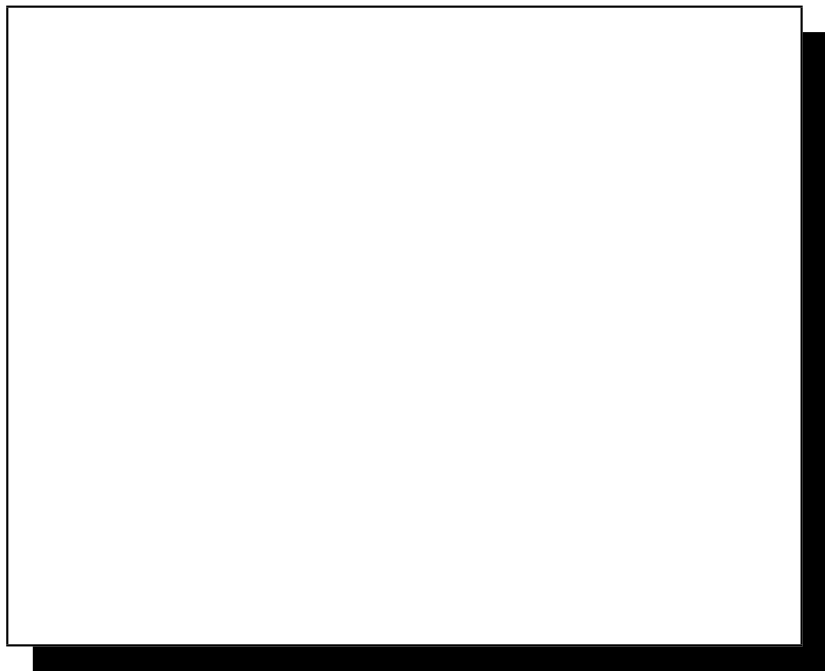


# 近似解法

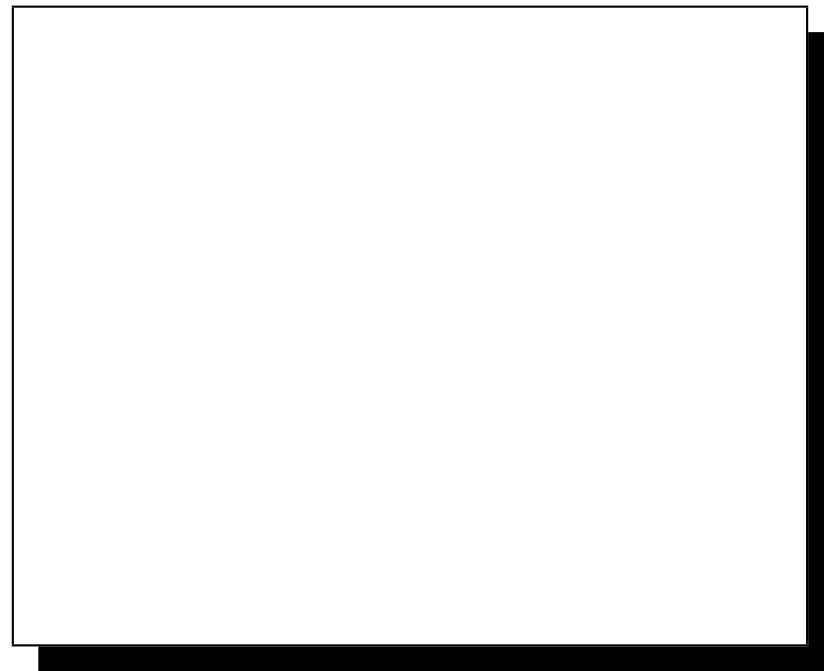
実用的な時間でなるべく短いルートを求める.

平面上の  $n$  都市に対する巡回セールスマン問題も NP 困難

日本の 9847 都市の問題



エジプトの 7146 都市の問題



TSPBIB[4] から

## 巡回セールスマン問題の応用例（近似解法を考える意義）

---

プリント基板の穴をどの順番であけていくか？

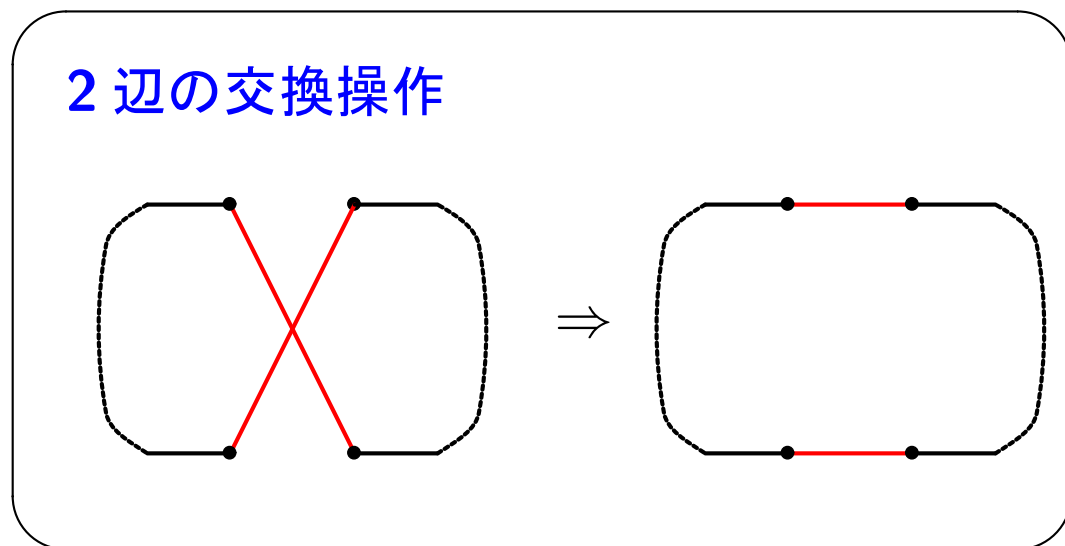


実社会では、数百万、数千万都市の問題を解きたいという要求がある。

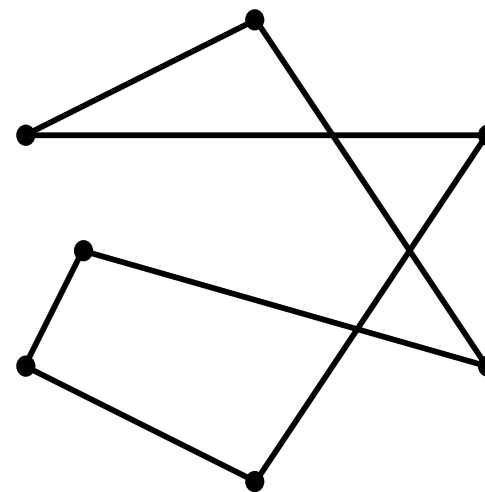
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



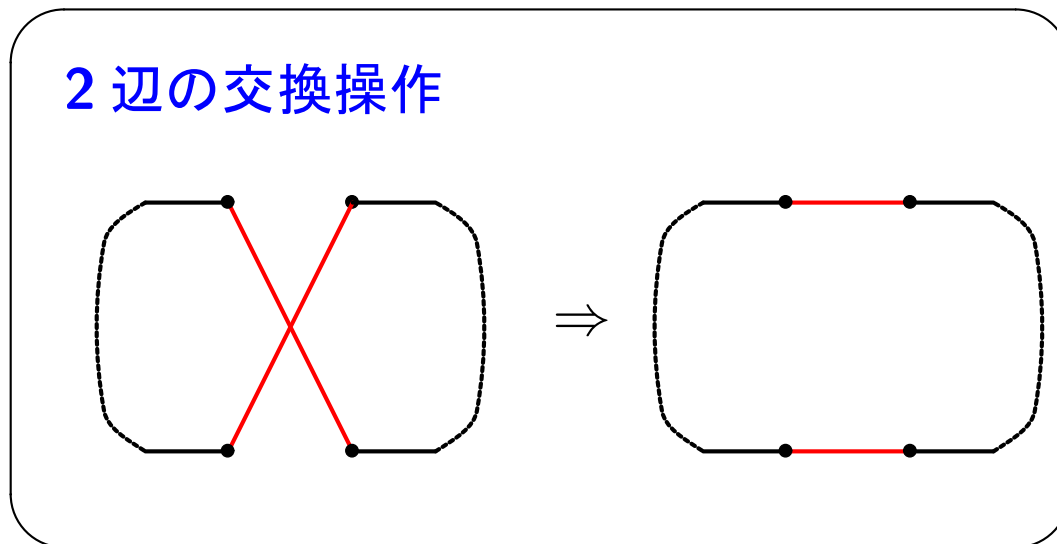
例



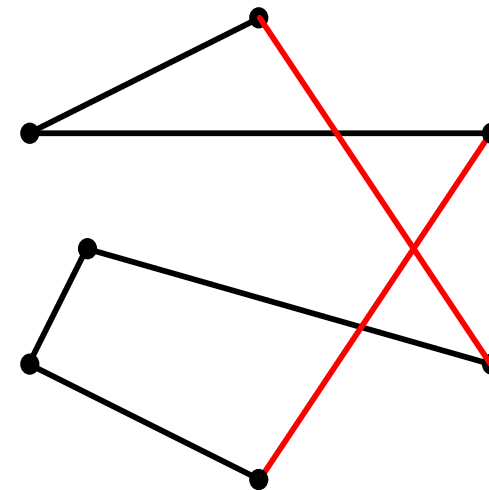
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



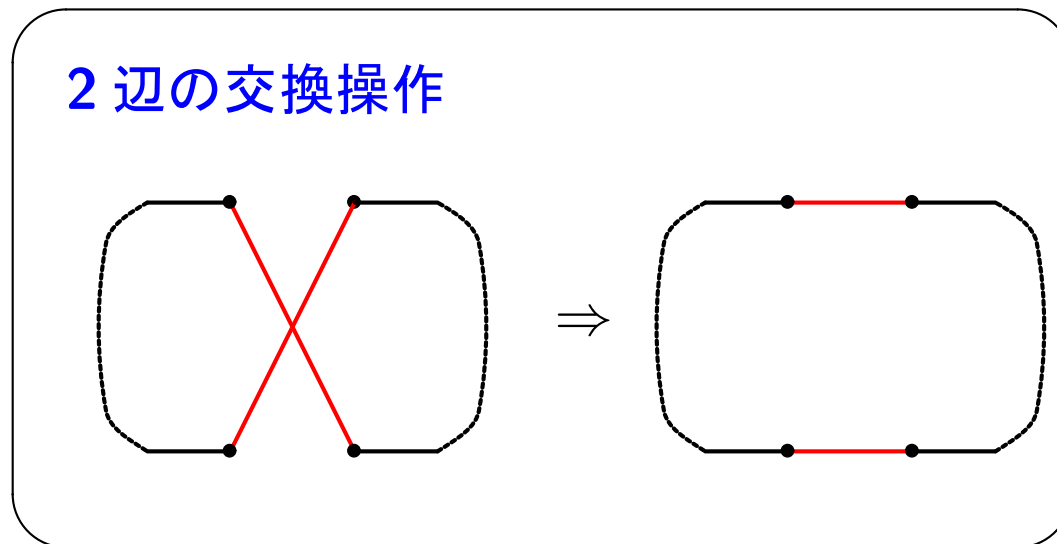
例



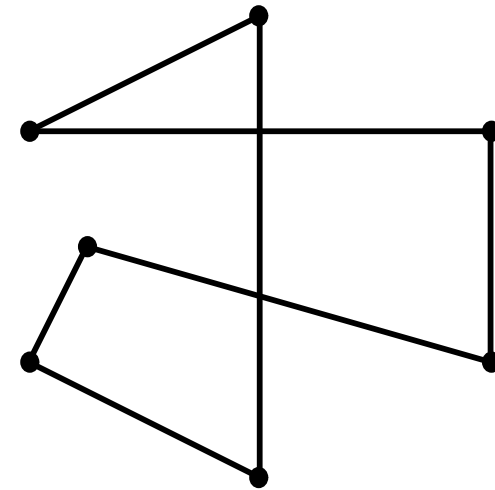
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



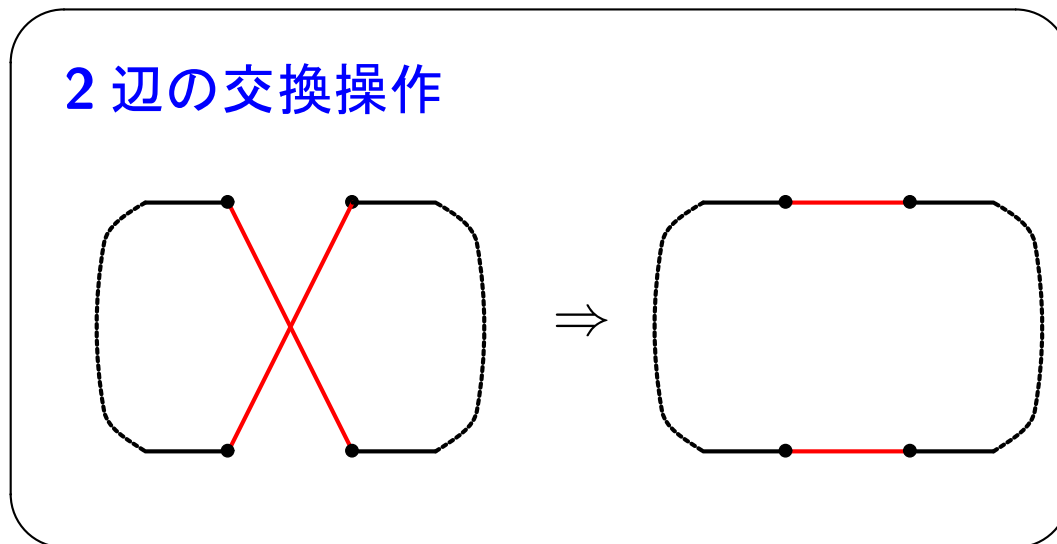
例



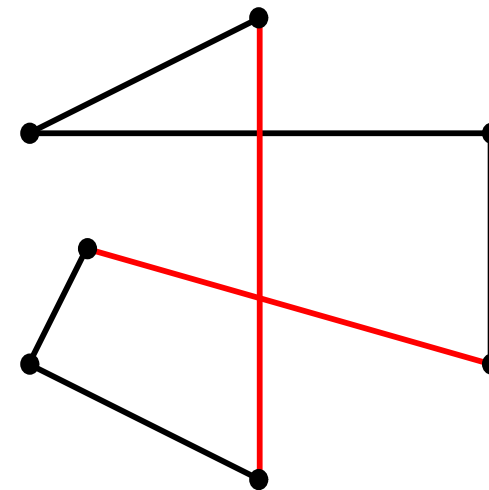
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



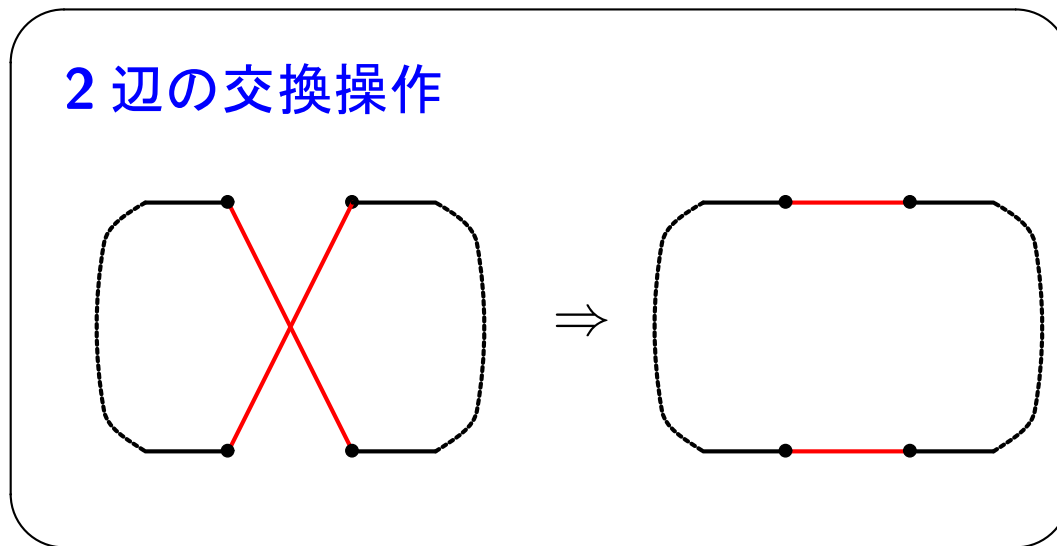
例



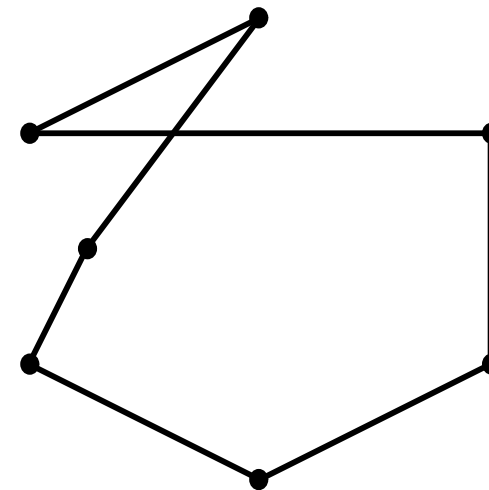
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



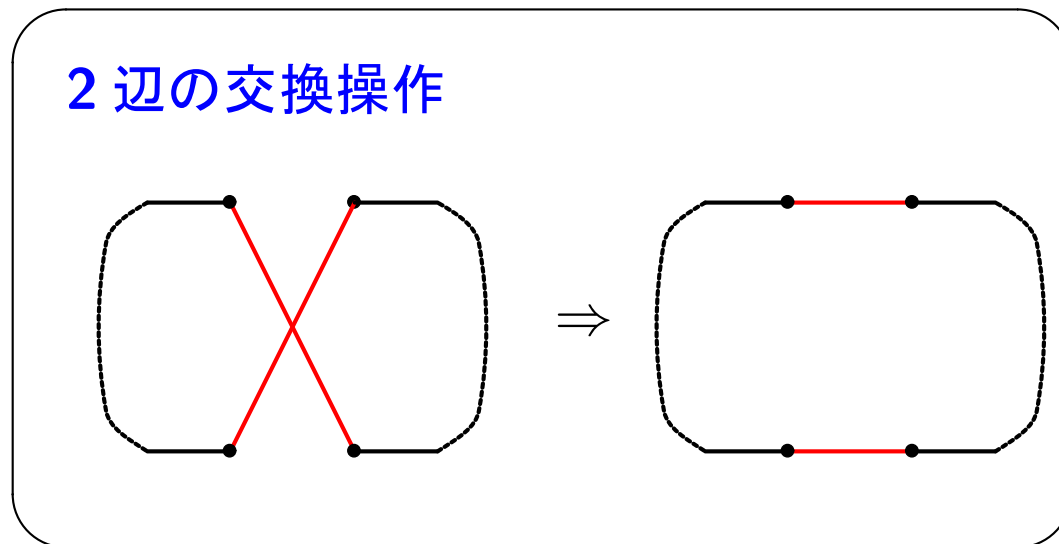
例



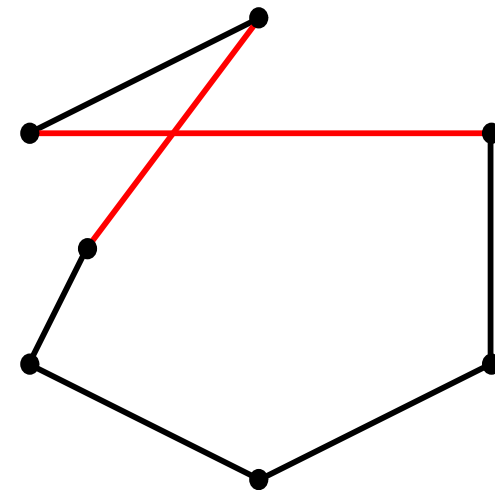
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



例

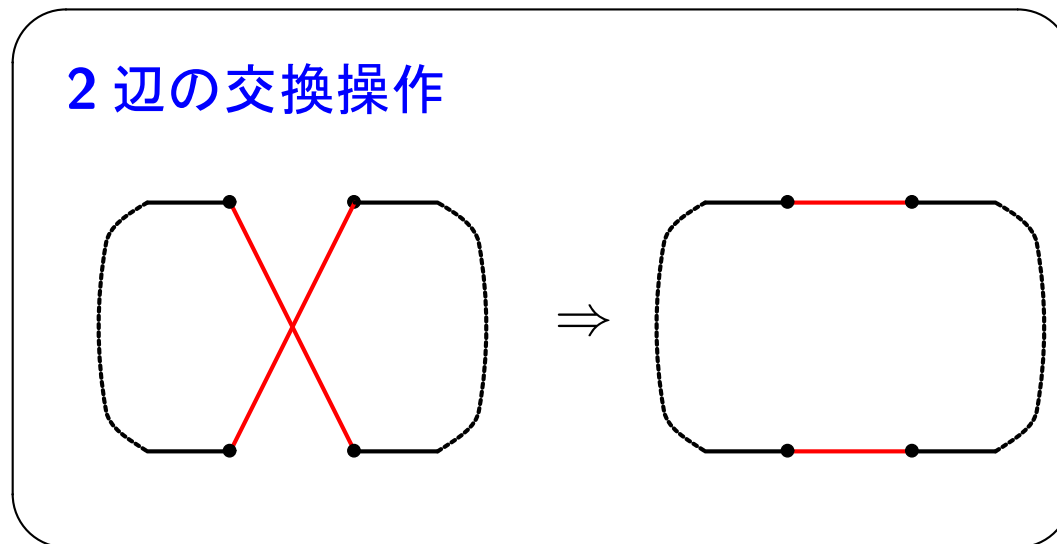




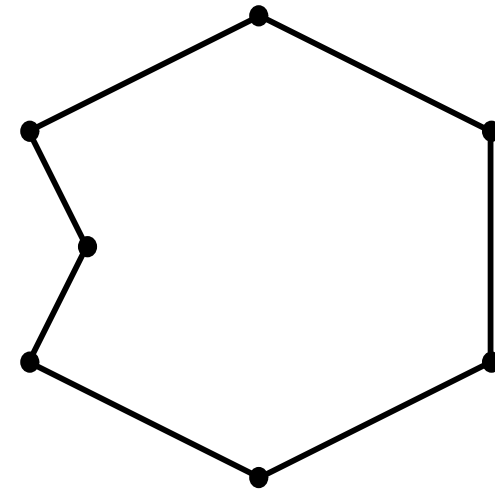
# 付録 — 近似解法 (1)

## 局所探索法

**2-OPT** : ある解からはじめ, 2 辺を交換して値 (辺の重みの和) が小さくなるなら, それを新たな解とする. この操作ができなくなるまで繰り返し, 解を求める方法.



例

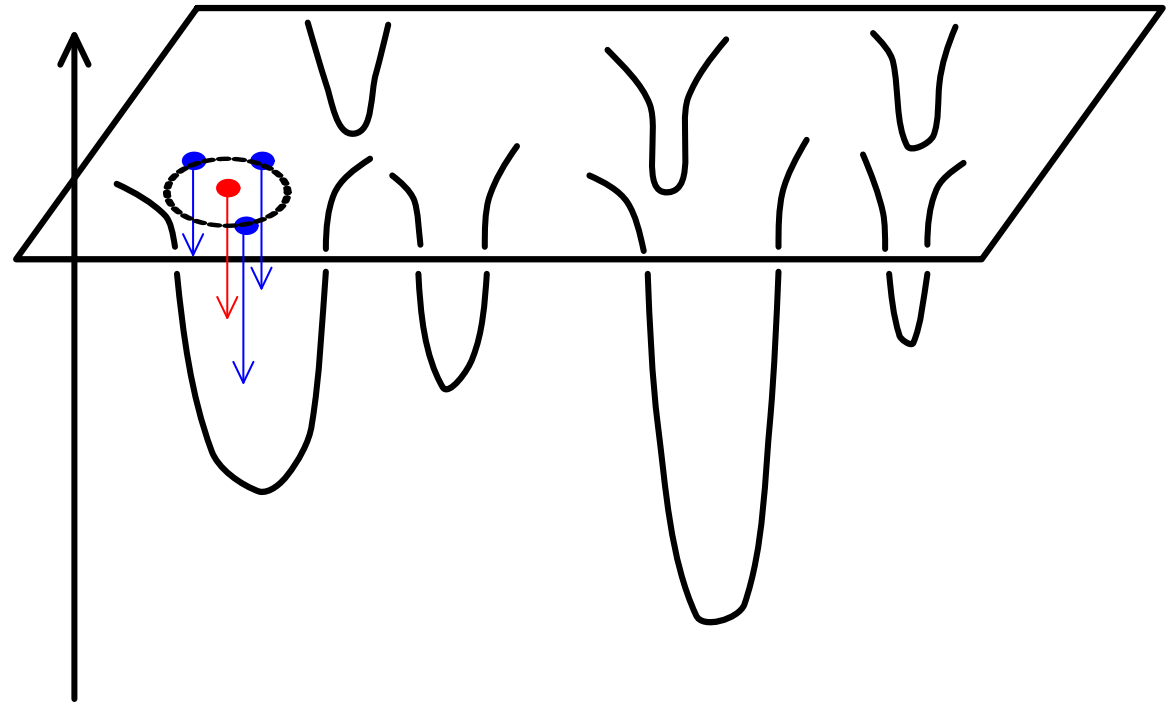


## 付録 — 近似解法 (2)

### メタヒューリスティックス

最適解ではない穴（局所最適解）で終わってしまわないように努力する。

辺の重みの和（大）



- シミュレーテッドアニーリング
- タブー探索
- 遺伝的アルゴリズム
- ⋮

## 参考文献

- [1 ] R. ブランデンベルク, P. グリッツマン著, 石田基広訳, 「最短経路の本」, シュプリンガー (2007).
- [2 ] 久保幹雄, 山本芳嗣, 「巡回セールスマン問題への招待」, 朝倉書店 (1997).
- [3 ] **D. L. Applegate, R. E. Bixby, V. Chvátal and W. J. Cook, *The Traveling Salesman Problem - A Computational Study*, Princeton University Press (2006).**
- [4 ] **P. Moscato, *TSPBIB*,**  
[http://www.densis.fee.unicamp.br/~moscato/  
TSPBIB\\_home.html](http://www.densis.fee.unicamp.br/~moscato/TSPBIB_home.html)
- [5 ] **G. Reinelt, *TSPLIB*,**  
<http://comopt.ifl.uni-heidelberg.de/software/TSPLIB95/>